

だいしょうじ

大聖寺地区

(石川県加賀市)

○ 計 画 期 間 平成 18 年度～平成 21 年度

○ 面 積 200h a

○ 交付対象事業費 231 百万円

○ 市人口 63,830 人

ポイント

自然と歴史が感じられる城下町【大聖寺】らしい街並みの創出。

地区概要

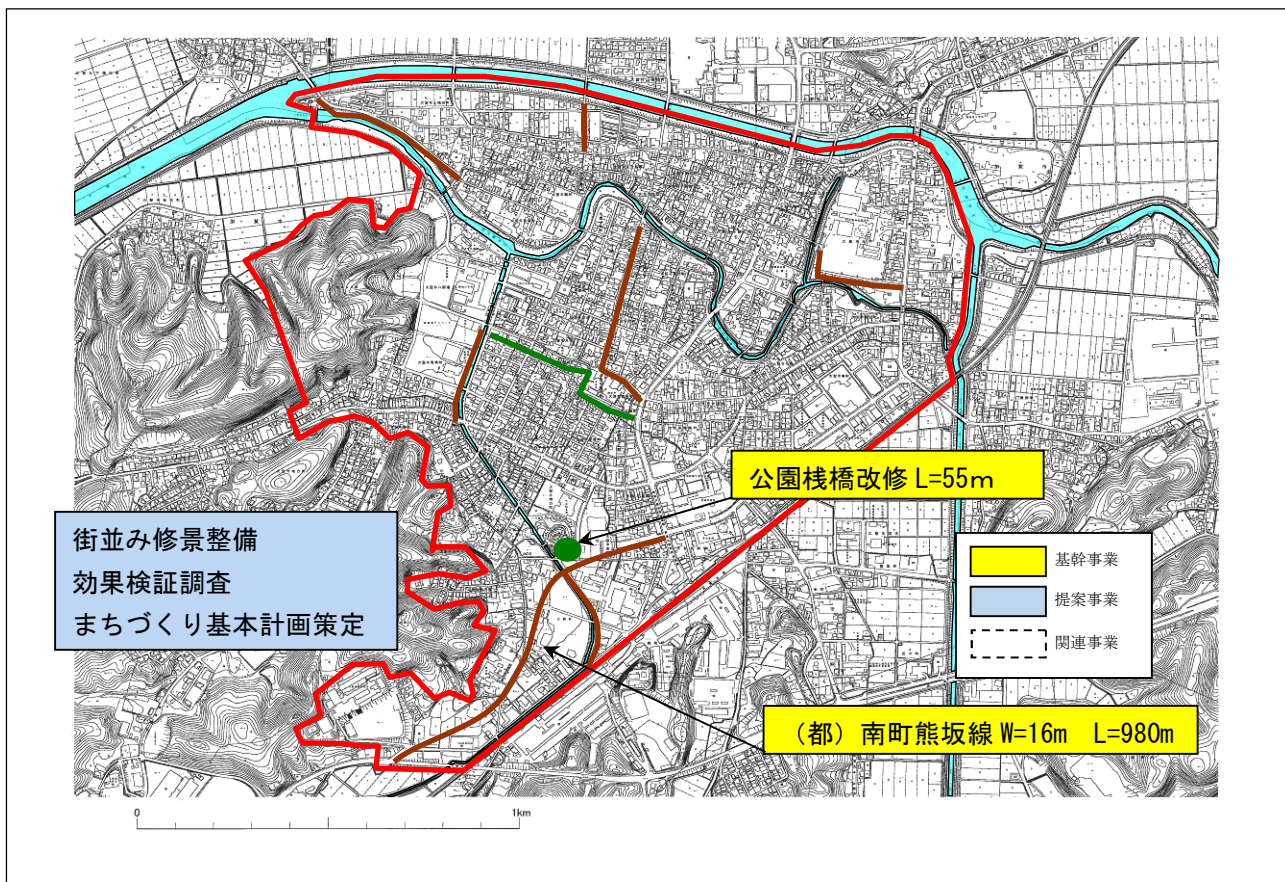
道路修景や既存水路敷の緑化などにより地区内の古い家屋（町屋）や川、水路を活かした城下町らしい魅力ある町づくりを図る。

目 標 地域ストックである古い家屋（町屋）や川、水路を活かした街並み空間整備と、誰もが安心して歩ける散策路整備により歩行者が行き来する賑わいある街並みづくり。

指 標 歩行空間の充実により地区内の歩行者増加を目的とし相乗効果として高齢者の健康増進を指標とした。

歩行者数	51 人/日(12h) (H14)	→	80 人/日(12h) (H21)
定住人口減少率	2.05% (H16)	→	1.5% (H21)
周遊バス利用者	38,400 人/年 (H16)	→	40,000 人/年 (H21)

事業内容 基幹事業（187 百万円） → 道路（（都）南町熊坂線 16m 延長 980m、公園（棧橋改修延長 55m）、地域交流センター
提案事業（44 百万円） → 街並み修景整備（10 箇所）、効果検証調査、まちづくり基本計画策定



地区の現況と課題

大聖寺地区は、大聖寺城を中心に大聖寺川や熊坂川を自然の堀として活用した城下町として形成され、現在でも加賀市庁があり歴史的市街地と近代的市街地の併存された中心地区である。

本地区では、車利用を中心とした生活様式に合わせた郊外の大型店進出により空き店舗が増え、定住人口の減少、少子高齢化が進んでいる。

平成9年度に、「大聖寺地区歴史的環境整備調査委員会」により地区住民の住環境改善や“まち”の魅力向上を図る事業計画が提案され、平成12年度から平成17年度まちづくり総合支援事業により山の下寺院郡を中心に道路修景色、拠点整備が進められている。

また、平成14年度には地区内の幹線道路網について見直し案が検討されているほか地区内の住民の健康プランについても「健康かが21計画」が検討され歩行空間の充実が求められている。

提案事業の特徴

街並み修景事業（山の下・福田町地内）

大聖寺地区に残る歴史的寺院郡を中心とした街並み保全の為、周辺家屋の新築、改築の際に修景整備計画に沿った物件に助成し連続した景観の保全と拡大を図る。

市民活動

継続的な市民活動

地元住民を中心としたNPO法人が結成され、「まちなみ塾(まちなみ景観講演会)」開催をはじめ、「歴史的通り名称看板設置」、地区の歴史的メモリアルポイントの再建(「時習庵」「時鐘堂」整備)等継続したまちづくり活動が進められている。

「大聖寺児童歴史体験資料館」は、大聖寺藩の藩校「時習館」にちなんで「時習庵」として、明治中期と昭和初期の建築物からそれぞれの時代を感じさせる姿をよみがえらせた。

時習庵



道路修景整備



水路緑化整備



かつて、大聖寺藩の二代目藩主前田利明が、時刻や町会所の開閉時刻を教えるために作った「旧大聖寺藩・時鐘堂」を再建した。

時鐘堂



時習庵の室内

